

## 令和元年第2回厚真町議会定例会一般質問通告一覧表

(令和元年6月13日)

通告議員氏名	質 問 の 要 旨	備考
1 伊藤 富志夫	<p><b>1 高齢者福祉施設の整備と人材確保について</b></p> <p>① 町内の高齢者福祉施設の待機者が多数いる。一方、A-7プランでは2025年の状況が書かれている。 今後、町内の高齢者福祉住宅、サービス付高齢者福祉住宅の建設等についてどのように考えているのか。</p> <p>② 今ある特養老人ホームやグループホーム施設などの今後の整備・拡充についてどのような考えを持っているか。</p> <p>③ どの施設も課題となっている従事者の人材確保について、町の福祉計画としてどのような考えを持っているか。</p> <p><b>2 百年記念公園とルーラル地区について</b></p> <p>① 百年記念公園を縦断している導水管の工事後の百年記念公園は、どの程度復元するのか。 また、今ある壊れた建物はどうしていくのか。</p> <p>② ルーラル地区の今後については、耐震化事業後の復興計画を持っているのか。又は、以前の様な「ルーラルパークシティ構想」的なものを作る考えはあるのか。</p>	収受 6/3
2 森田 正樹	<p><b>1 防犯カメラについて</b></p> <p>① 震災後、多種多様な人・車両が出入りしており、車上荒らし、盗難等も発生している。仮設住宅に入居している方をはじめ町民の方々が不安な生活を送っている。そのような状況を踏まえ、必要な所に防犯カメラの設置の考えはあるか</p> <p>② 民間事業所の設置に対しての補助制度を導入してはどうか。</p> <p>③ また、児童・生徒の通学路に防犯灯や防犯カメラを設置する考えはあるか。</p> <p><b>2 動物愛護について</b></p> <p>町民の中には犬・猫を飼われている方も多い。震災後、やむを得ず動物を手放す方もいるようで、野良犬・猫が増えているようである。</p>	収受 6/4

		<p>今後、増える時期なので、動物愛護ボランティアなどと協力して、命を助ける補助制度を設けても良いのではないか。</p>	
3	橋本 豊	<p><b>1 高齢者生活自立支援センターならやまの倒壊に伴う再建について</b></p> <p>地震による土砂災害により、北部地区の高齢者生活自立支援センターならやまは倒壊した。</p> <p>5自治会の総意のもと建設された同施設は、北部地区の集会所であり憩いの場として地域に親しまれてきた。</p> <p>今後、再建する考えはあるのか。</p> <p><b>2 不陸している農地の対応について</b></p> <p>地震の影響により、水田の面が不陸している農家が多数いる。</p> <p>これに対する町の対応の考え方、また、不陸を調整するための補助金を交付することは考えているか。</p> <p><b>3 ハビウ川山岸地先農道橋の復旧について</b></p> <p>高丘地区内の農地等に出入りするハビウ川山岸地先農道橋が地震により被害を受け、重量のある車両の通行ができない。自力での農道橋の復旧は困難であり、秋の収穫時までの早急な復旧が望まれるが、町が対応する考えはあるか。</p>	<p>収受 6/5</p>
4	下司 義之	<p><b>1 北海道胆振東部地震被災者義援金の状況及びその配分状況</b></p> <p>厚真町には、全国から多くの災害支援を頂いている。その中でも、義援金は被災者に直接支払われるお金として住民の関心も高い。</p> <p>厚真町では全世帯を対象に何らかの義援金が配分されているが、申請したがまだ入金にならない、制度を知らなかったなどの意見が一部にある。</p> <p>現在の義援金の状況、配分の状況を問う。</p> <p><b>2 職員数及び給与費等の財源</b></p> <p>平成30年9月6日の震災以降、町では職員の雇用を積極的に行っているが、現在の職員構成はどの様になっているか。</p>	<p>収受 6/5</p>

	<p>また、職員の増員に伴う給与費等の財源確保は十分か問う。</p> <p><b>3 復興に伴う、地域協力活動に従事する、地域おこし協力隊の募集</b></p> <p>現在厚真町では、一次産業も含め起業型地域おこし協力隊の募集を行っているが、平成30年北海道胆振東部地震により、復興に伴う地域活動に従事する人材が不足している。起業型以外の地域活動に従事する地域おこし協力隊の募集も行ってはどうか。</p>	
--	--	--